

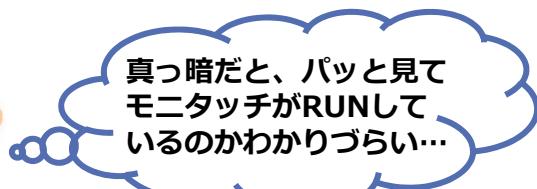
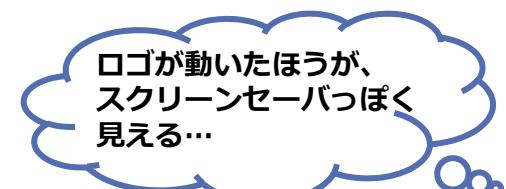
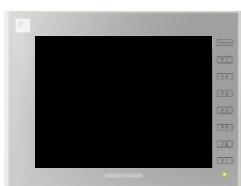
## マクロでひと工夫 ～スクリーンセーバ～

第85号（2016年6月号）

マクロとアニメーションを組み合わせて、ちょっとひと工夫。  
パソコンのようなスクリーンセーバ画面を作れます！

BEFORE

バックライトOFF機能だと、画面が真っ暗…  
パソコンのスクリーンセーバのように、ロゴが動いたらよいのに…



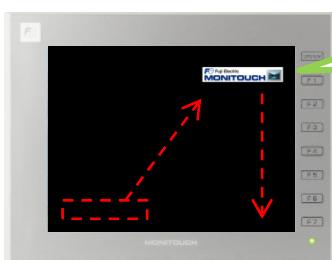
マクロとアニメーション機能を  
組み合わせれば！

AFTER

一定時間触らないと、スクリーンセーバ用の画面に切替！  
画面上をロゴが移動して、スクリーンセーバ表示中とわかります！



一定時間触らないと…



ロゴが移動！



スクリーンセーバ中と分かりやすい！

好きな画像を使えるので、  
装置に合わせてアレンジできるのもいいね！

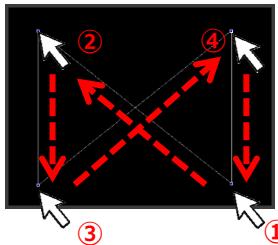
ひと工夫のポイントは、次のページへ！



## アニメーションによって…画像を動かします

ビットマップ、もしくは、JPEGファイルを読み込んで、アニメーションに使用できます！  
動きはV-SFT上でマウス指定！

例：スクリーンセーバ画面（スクリーンNo. 100）



動かしたい順番に、マウスで位置をクリックしていくだけで  
簡単に動作を決められます！

※アニメーション機能に関して、  
詳しくは『V9リファレンスマニュアル [1]』をご覧ください。

## マクロによって…スクリーンセーバ画面に切替えます

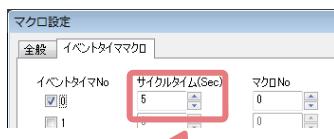
タッチスイッチ状態を監視して、「一定時間触らなければ…」の条件を解決！  
システムデバイス\$S901を使います！

\$S900 : タッチスイッチ状態 (0ビット目)  
\$S901 : X座標 (絶対座標)  
\$S902 : Y座標 (絶対座標)



例えば、5秒以上触らなければスクリーンセーバ（スクリーンNo. 100）に変えるとすると…

[システム設定] → [マクロ設定] → [イベントタイママクロ] を使用します。



5秒ごとに  
マクロが動作！

<マクロ参考>

```
マクロブロックNo.0 ( ) [スクリーンセーバー] - マクロエディタ
[ファイル(E) [編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)]
0: イベントタイママクロ (sec)
1:
2: スクリーンセーバー画面表示中はマクロを実行しない
3: IF($S900 == 100) LB 0 (W)
4:
5: タッチスイッチ状態監視
6: 前回のタッチ位置($S901)と現在のタッチ位置($S902)を比較
7: IF($S9001 != $S902) (W)
8: 不一致→現在のタッチ位置を$S901に格納
9: $S901 = $S902 (W)
10: ELSE
11: 画面一時的にスクリーンセーバ画面に移動
12: $M0000 = 100 (W)
13: SYS (SET_SCRN) $M0000
14: ENDIF
15:
16:
17: LB 0:
18: マクロ終了
```

元のスクリーンに戻る時は、  
スイッチ機能：リターンを使用します。

画面いっぱいに  
透明スイッチを配置しておく！



ちょっとひと工夫で作るスクリーンセーバ画面！  
ぜひお試しください！



【連絡先】

**発紘電機株式会社**  
モニタッチコールセンター

TEL

: 0120-929-299

\* 携帯電話からは076-274-5130

FAX

: 076-274-5208

URL

: <http://www.hakko-elec.co.jp>